【4-7　評価シート　エビデンス総体】

診療ガイドライン	乳房再建術を前提にした乳癌手術において乳房皮膚の温存は勧められるか？
対象	皮膚や胸筋への浸潤、炎症性乳癌などの症例を除く症例
介入	SSM
対照	Bt

エビデンスの強さはRCTは"強（A）"からスタート、観察研究は弱（C）からスタート
* 各ドメインは"高（−2）"、"中/疑い（−1）"、"低（0）"の3段階
** エビデンスの強さは"強（A）"、"中（B）"、"弱（C）"、"非常に弱（D）"の4段階
*** 重要性はアウトカムの重要性（1〜9）

エビデンス総体

								リスク人数（アウトカム率）											
アウトカム	**研究デザイン/研究数**	**バイアスリスク***	**非一貫性***	**不精確***	**非直接性***	**その他(出版バイアスなど)***	**上昇要因(観察研究)***	**対照群分母**	**対照群分子**	**(%)**	**介入群分母**	**介入群分子**	**(%)**	**効果指標(種類)**	**効果指標統合値**	**信頼区間**	**エビデンスの強さ****	**重要性*****	**コメント**
全生存率の低下	症例対照・症例集積/5	−2	−1	−1	−1		0	130	102	78.5	1132	1039	91.8				弱(C)	9	乳切で生存率の記載があるのは、進行症例が多い論文1編であり、SSMとstageはほぼ一緒で、生存率に差はなし
整容性	症例対照・症例集積/5	−1	−1	−1	−1		0	NA	NA	NA	NA	NA	NA				中(B)	6	
患者満足度	症例対照・症例集積/5	−2	−1	−1	−1		0	NA	NA	NA	NA	NA	NA				弱(C)	5	
局所再発率	症例対照・症例集積/8	−2	−1	−1	−1		0	2709	56	2.1	1883	74	3.9				弱(C)	8	生検痕、腫瘍に近い場合は直上皮膚切除している施設が多い
皮弁壊死																		4	論文なし
遠隔転移	症例対照・症例集積/7	−2	−1	−1	−1		0	592	108	18.2	1812	190	10.5				弱(C)	3	術後補助療法に関してはほぼガイドライン通り

コメント（該当するセルに記入）

O1：害																		
O2：益																		
O3：益																		
O4：害																		
O5：害																		
O6：害																		